

- 管内 オホーツク管内
- 分類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 交通安全市民運動推進委員会と連携した、早期の交通安全教室の実施
- PTA広報誌による家庭と連携した交通安全指導

### 取組の実際

#### ねらい

- 年度始めの早期に、外部指導者を活用した「交通安全教室」を実施することにより、交通安全に対する意識の向上を図る。
- PTA広報誌において、安全な自転車利用についての記事を掲載することにより、家庭と連携しながら交通安全に対する意識の啓発を図る。

#### 内容

#### 1 「交通安全教室」を踏まえた年間を見通した交通安全指導

年度始めの早期に、交通安全市民運動推進委員会から招いた講師による「被害者にも、加害者にもならない自転車運転」をテーマとした講話や映像教材の視聴を行った。

実施後、生徒指導部による自転車点検を行うとともに、年間計画を踏まえた交通安全指導に取り組んでいる。

今後は、ヘルメットの着用やLEDライトの普及を推進していく予定である。



【交通安全教室での講師の講演】

#### 2 PTA広報誌による家庭と連携した交通安全への取組

PTA広報誌で「自転車利用」をテーマに、「自転車利用の基礎知識」「通学路の危険箇所マップ」「事故を起こしてしまった場合の対処・手順」「生徒へのアンケート」等の記事を取り上げ、保護者と生徒に対し、交通安全に対する意識の啓発を図った。

通学路の危険箇所を生徒インタビューとともに掲載することで、生徒が自分事として通学路の安全性を実感できるような工夫を行っている。

今後もPTA広報誌を活用し、家庭での交通安全意識の啓発を図る予定である。



【PTA広報誌】

#### 成果と課題

- 年度始めの早期に、外部人材を活用した「交通安全教室」を実施することで、自転車を安全に運転する意識をより高めることができた。
- PTA広報誌に「自転車利用」について掲載することで、家庭において自転車の乗り方や交通ルールについて会話するきっかけづくりとして有効であった。
- 学校評価において、「本校は、生徒の安全や健康を守る指導をしっかり行っている」と回答する保護者の割合が、平成28年度：20%、平成29年度：24%、平成30年度：27%と増加している。
- 安全教育のさらなる充実を図るため、家庭・地域・関係機関・団体等と連携した交通安全の取組を継続する必要がある。